

令和6年度 県民モニターアンケート調査結果

テーマ：スポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民スポーツ大会」について

福岡県 人づくり・県民生活部 スポーツ局 スポーツ振興課

1. 調査目的

県では、スポーツの振興とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に、昭和33年（1958年）から「福岡県民スポーツ大会」を毎年開催しており、令和5年度は約1万3千人もの方々に御参加いただきました。

大会では、県内40郡市から競技ごとに選抜された選手が出場する「郡市対抗競技」として水泳・陸上競技など14競技を、そのほか「公開競技」として27競技を実施しております。また、大会は県内を4地区に分けて順番に開催しております。

本アンケートにおいて、県民の皆さまのニーズを把握し、今後、「福岡県民スポーツ大会」をより良い大会としていくために調査を行いました。

2. 活用状況

福岡県民スポーツ大会をはじめとする「スポーツフェスタ・ふくおか」の見直しのための基礎資料として活用します。

3. 調査時期

令和6年10月10日～11月7日（第4回）

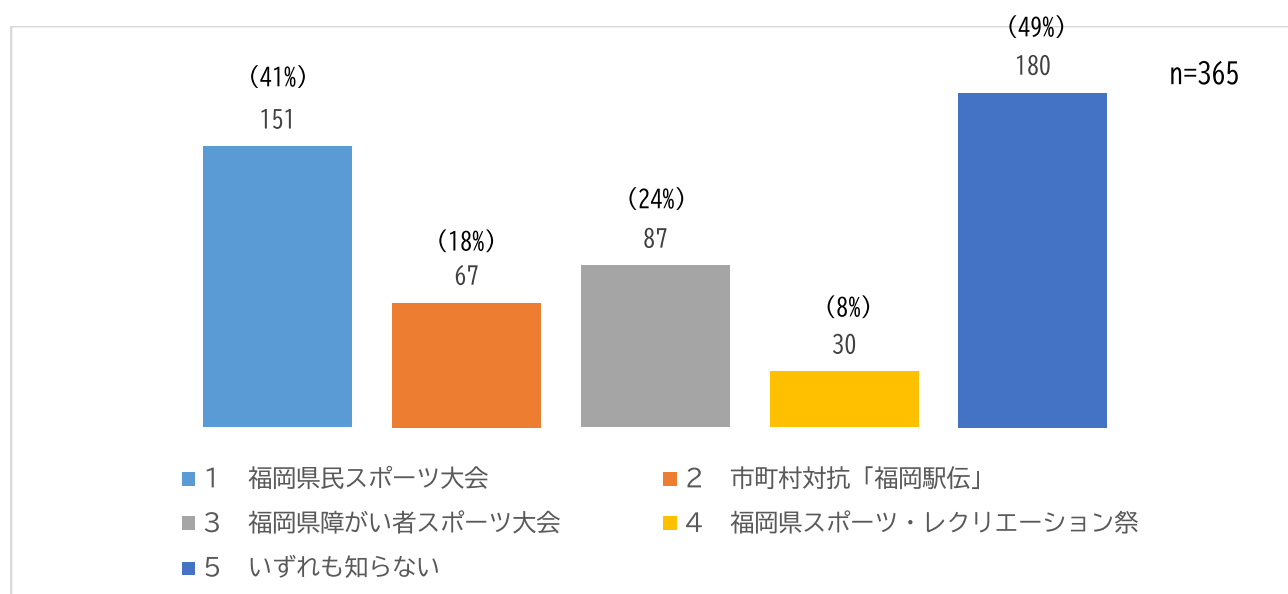
4. 回答数及びその構成

回答数：365名

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数（名）	構成比				
総数	人数	365	—	91	190	57	27
	構成比	—	100.0%	24.9%	52.1%	15.6%	7.4%
性別	女性	191	52.3%	50	97	30	14
	男性	171	46.8%	39	92	27	13
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	50	13.7%	11	27	8	4
	30代	61	16.7%	17	30	10	4
	40代	76	20.8%	20	39	12	5
	50代	64	17.5%	15	34	12	3
	60代	74	20.3%	21	39	5	9
	70代以上	40	11.0%	7	21	10	2

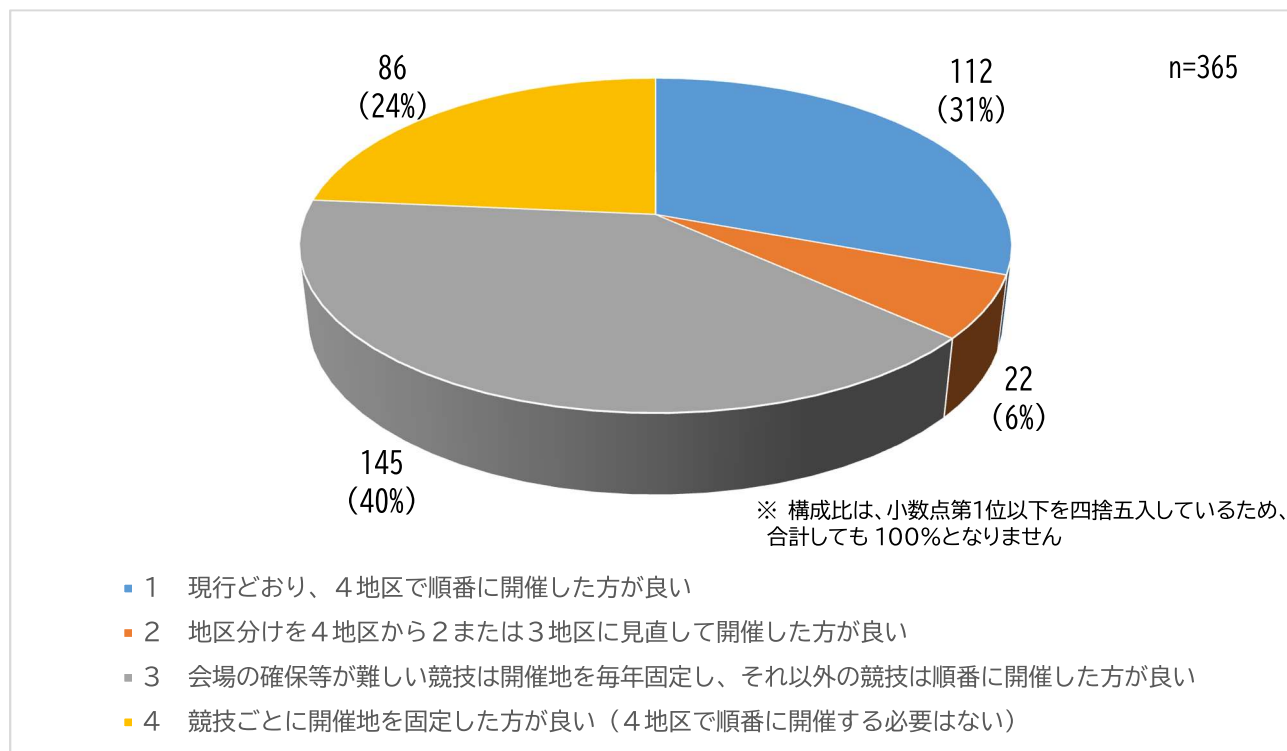
5. 回答結果

問1 福岡県が開催しているスポーツ大会について、知っているものはありますか。(複数回答)



- 「5 いずれも知らない」とする意見が49%と最も多く、県政への関心度が高い県政モニターにおいても、半数の方が当課が開催するスポーツ大会を認知していない。
- 特に、「福岡県スポーツ・レクリエーション祭」の認知度が低い。

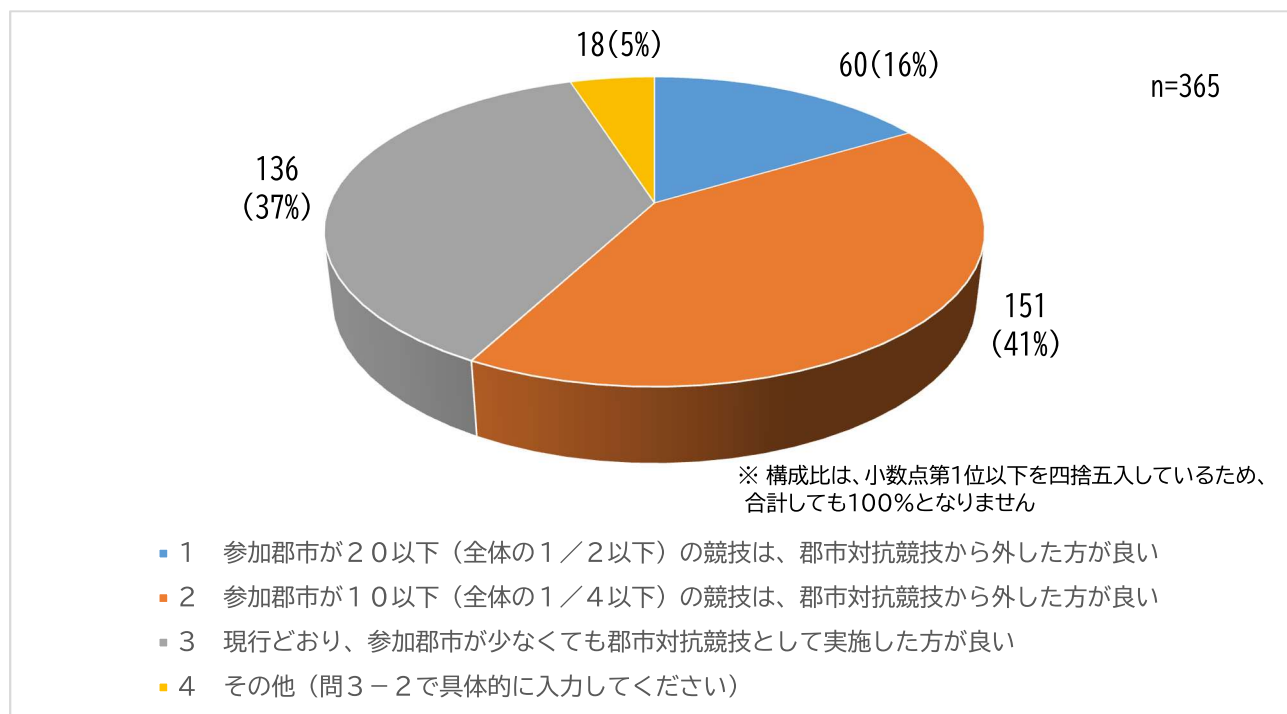
問2 福岡県民スポーツ大会は、スポーツを身近に感じていただけるよう県内4地区で順番に開催していますが、地区によっては会場の確保や運営面での負担などの課題も出ています。
上記大会を県内4地区で順番に開催することについて、どう思いますか。



- 「1 現行どおり、4地区で順番に開催した方が良い」とする意見は、31%と一定数あるものの、課題に対して何らかの形で見直しをした方が良いとの意見が多い。
- 「4 競技ごとに開催地を固定した方が良い（4地区で順番に開催する必要はない）」とする意見は24%であり、何らかの形で順番に開催した方が良いとの意見の方が多い。
- その中でも、「3 会場の確保等が難しい競技は開催地を毎年固定し、それ以外の競技は順番に開催した方が良い」とする意見は、40%と最も多い。

問3 福岡県民スポーツ大会では郡市対抗競技として14競技を実施しておりますが、中には参加郡市が少ない競技もあります。

参加郡市が少ない競技について、その取扱いをどうすべきだと思いますか。



問3－2 その他【抜粋・まとめ】

- 参加者が少ない郡市は、近隣の郡市と合同等の方法により出場できるようにする（4名）
- 人口比により実力差があるため、郡市対抗競技としない（4名）
- 参加郡市が少ない競技は、他の競技に変更する。若い世代に人気のBMX、ダンス、障がい者も参加できるボッチャ等（2名）
- 参加したい人は参加すればよい（3 現行どおりに近い意見）（2名）
- 参加郡市が少ない競技は、隔年開催とする（1名）
- 競技者に尋ねる（1名）
- 県民スポーツ大会の在り方を検討する（1名）

- 「1 参加郡市が20以下（全体の1／2以下）の競技は、郡市対抗競技から外した方がよい」とする意見が16%、「2 参加郡市が10以下（全体の1／4以下）の競技は、郡市対抗競技から外した方がよい」とする意見が41%と、競技を見直した方がよいとの意見が多数となった。
- 一方で、「3 現行どおり、参加郡市が少なくても郡市対抗競技として実施した方がよい」とする意見が37%と、競技人口に関わらず競技を継続する意見も一定数寄せられた。
- その他の意見として、近隣の郡市と合同での出場を認める案や、郡市対抗としないやり方、競技の見直しに言及する意見が寄せられた。

問4 福岡県民スポーツ大会を始め、県民がスポーツに触れる機会を増やすために必要だと思う取り組み・アイデアはありますか。(自由記述)

【抜粋・まとめ】

○ 広報活動（54名）

様々な媒体を活用する（テレビ、ラジオ、新聞広告、SNS、ホームページ、ケーブルテレビ、交通機関、福岡県だより、地域の回覧版）、広報活動の協力を仰ぐ（市町村の広報誌、学校、スポーツクラブ、地域の指導者、県内企業、自治体のスポーツ施設、高齢者・障がい者向けの広報）、スポーツの魅力・メリットを発信、県民スポーツの日を制定

○ 気軽に参加できるイベント・体験会の開催（19名）

初心者が無料で参加できる体験会、普段スポーツをしない方でも参加できるイベント、駅などの人が行き交う場所でのイベント、市・町・地域単位の小さなイベント、地域のレクリエーション、小中学校でのイベント

○ 施設・設備整備（17名）

スポーツを気軽に楽しめる設備・場所が必要、公園・グラウンド・体育館の整備、ボール遊び禁止などの公園での制限をなくす、ウォーキングコースの設置、公民館の活用、学校体育館の無料開放

○ 市町村、他団体との連携（17名）

市町村との連携、各市町村でのスポーツ大会、中学・高校・大学・社会人のクラブ活動との連携、スポーツが盛んな学校との連携、公民館単位でのスポーツクラブ設置、各地区にスポーツ推進委員を配置、区長さんへ参加協力を要請、企業・団体と連携してイベント開催、企業でのスポーツイベント開催を促進、企業での啓蒙活動、地域のコミュニティセンターでの取り組み

○ 子ども向けのイベント・教育（16名）

親子で参加できるイベント・教室、楽しさを伝える指導者・選手の学校派遣、子どもの部の創設、保育園・幼稚園・小中学校への周知、マイナースポーツを体育に取り入れる、若者メインのイベント

○ スポーツをするきっかけとなるインセンティブの付与（15名）

ポイント付与、お店の割引、参加賞・賞品、公の施設の割引・無料クーポン

○ オリンピアン、プロスポーツチームなどとの連携（13名）

オリンピックの凄さを体感することがスポーツを始めるきっかけ、プロスポーツチームとの交流、福岡県出身のスポーツ選手とのふれあい

○ 福岡県民スポーツ大会の見直し（13名）

競技の見直し（ニーズに合わせる、誰でも参加できる、オリンピックや世界大会など話題のスポーツ）、合同チームでの参加、市と町村の分を区別、参加料を無料とする、参加者の交通の便を考える

○ 補助・支援制度（9名）

ジムやスポーツ教室の利用料補助、スポーツ施設運営者への補助、地域のスポーツクラブへの支援

○ 高齢者向けのスポーツ（6名）

高齢者のスポーツ大会の実施、グラウンドゴルフの追加、後期高齢者など年代別の大会

○ 他イベントとの共催（5名）

話題性があるグルメイベント、競技者以外も楽しめるバザー、マルシェなどと一緒に開催すると応援者も参加しやすい

○ eスポーツの追加、ふくおか健康ポイントアプリでのバーチャルウォーキング（4名）

○ 日々のウォーキングで参加できる仕組み、ウォーキング大会の開催（3名）

○ ラジオ体操（3名）

○ 現行のとおりで良い（3名）

○ スポーツ観戦のキャンペーン（2名）

○ 障がい者スポーツの実施（2名）

問5 スポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民スポーツ大会」について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【抜粋・まとめ】

○ 広報不足・周知徹底（38名）

実施していることを知らない、参加方法・条件がわからない、関係団体にしか知られていない、市町村広報誌で結果を見るが参加者募集は見えていない、テレビ・新聞での広報、YouTubeでライブ配信、プロスポーツの開催日にチラシ配布、地域のスポーツイベント・スポーツ施設情報を発信、競技者の声をシリーズで紹介、県外からの転入者への周知

○ 大会運営へのご意見（17名）

継続して実施してほしい、競技の見直し（新しい競技の追加、マイナースポーツの採用、参加者が少なくても競技継続）、都市対抗から個人で参加できるよう変更する、都市部に住んでいてもゆかりがある地域からの出場を認める、開催地域への他地域からの応援、ボランティアへの謝礼が必要、パブリックビューイングでの観戦・応援、旧国体と同様に見直しの時期が来ている、名称の変更、開催時期の見直し

○ きっかけづくり（6名）

普段スポーツをしない方向けのイベント、子どもから高齢者まで参加できる緩い市民マラソン、ポケモンGOの人気など違う角度からアプローチ、簡単なスポーツならできる、運動を継続することは大変なので県に導いてほしい

○ 健康づくり（2名）

スポーツ・食事といった普段の生活が重要なことを啓発、競技に出ない方も参加できるウォーキング・健康チェックコーナーの設置

○ インターネットやアプリの活用、バーチャルでの参加（2名）

○ 家族と一緒に参加できる企画の実施（2名）

○ アイデア募集、県全体から意見を聴く（2名）

○ 地域・行政区単位でのスポーツをする雰囲気づくり、地域おこしにつながる取組の実施（2名）

○ 自治体の負担が増える大会を無理に行う必要はない、他の政策を優先すべき（2名）

○ スポーツに関心がない（2名）

○ 競技力の向上（2名）

○ 県や市町村が行うのではなく、競技団体等へ補助金を出した方が活性化するのは（1名）

○ 国の方針に従い、各都道府県が競い合うシステムを構築する（1名）

○ スポーツの日の式典を行う（1名）

○ 学生も参加できる取組を行う（1名）

○ タレント発掘事業の活用する（1名）